



第1 市民活動の推進

現状と課題

(現状)

- 個人の価値観の多様化や人口減少など、地域が抱える問題も複雑化しており、協働のまちづくりを推進するために地域自治組織や市民活動団体が果たす役割が重要になっています。
- 防災、福祉、保健、防犯など地域自治組織が果たす役割は多岐にわたります。
- 高齢化の進展や若年世代の市外流出により地域内のつながりが希薄になってきているほか、市民活動を支える地域の担い手が不足しています。

(課題)

- 地域社会の結びつきを深める活動などによる地域コミュニティの活性化が必要です。
- 地域自治組織の活動を担うリーダーの育成が必要です。
- 市民活動団体が自立して活動できるよう支援が必要です。
- 市民一人一人の社会参画への意識醸成が必要です。
- 協働に対する市民の意識啓発とともに、変化する地域課題に対応していくために「提案事業制度」をはじめとした協働事業の推進が必要です。

施策の体系

【施策】	【基本事業】
市民活動の推進	1 地域自治組織への活動支援 2 地域の担い手の育成 3 市民活動団体への活動支援 4 市民との協働の推進

施策の方向

- 地域自治組織の活性化を支援し、地域コミュニティの充実を図ります。
- 市民活動団体の活性化及び地域の担い手の育成を図るため、市民活動団体による自立的な活動を支援します。
- 協働に対する市民の理解を深めるとともに地域課題へ自ら取り組む意識の啓発を図ります。

【基本事業1】地域自治組織への活動支援 <SDGs⑪⑰> [総合戦略1-ウ]

- 地域活動の拠点となる集会施設整備への補助など、地域のコミュニティ活動を支援します。
- 関係団体等と連携して研修会を開催するなど、活動の中心となる人材の育成を図ります。
- 地域コミュニティの組織運営のための助言、支援を行います。

【基本事業2】地域の担い手の育成 <SDGs⑪⑰> [総合戦略1-ウ]

- 地域でのイベント実施など、市民が主体となった取り組みを支援するとともに、地域の担い手の育成を図ります。

【基本事業3】市民活動団体への活動支援 <SDGs⑪⑰> [総合戦略1-ウ]

- 市民活動団体の活性化と自立を図るため、活動などに対する支援の充実を図ります。
- 研修会などを開催し、市民活動への理解と参加する市民の増加を図ります。

【基本事業4】市民との協働の推進 <SDGs⑪⑰> [総合戦略1-ウ]

- 提案事業制度をはじめとする市民協働の仕組みについて情報提供し、市民と市の協働推進についての相互理解を深め、協働事業を推進します。



第5章 交流と連携による地域づくり

目標指標

	指標名	参考値 2018(H30)	現状値 2023(R5)	目標値 2029(R11)
施策	①地域自治組織(町内会、自治会等)の活動への参加割合(%)	17.5%	17.7%	20.8%
	②NPO等の市民活動団体の活動への参加割合(%)	2.0%	2.7%	4.5%
基本事業1	③地域自治組織(町内会、自治会等)の活動への関心度・参加意向(%)	30.5%	28.4%	40.4%
基本事業2	④市民活動団体の活動への60歳未満参加率(%)	—	—	34%
基本事業3	⑤NPO等の市民活動団体の活動への関心度・参加意向(%)	21.2%	23.1%	26.4%
基本事業4	⑥提案事業の実施件数	6件	9件	8件

【目標値の考え方】

- ①前期計画の目標値を目指すもの。
- ②前期計画の目標値を目指すもの。
- ③前期計画の目標値を目指すもの。
- ④2020(令和2)年国勢調査の宮古市の総人口に占める30～50代人口割合を目標値とするもの。
- ⑤前期計画の目標値を目指すもの。
- ⑥提案事業の実施件数の維持を目指すもの。(8団体/1年)

第2 男女共同参画と多様な生き方を尊重する社会の形成

現状と課題

(現状)

- 個々の生活形態や価値観が多様化するなか、地域を活性化し、その発展を図るうえで女性の社会参画は重要となっています。
- 市民意識調査によると、「仕事や地域活動などにおける女性の活動のしやすさ」の必要度が高くなっています。
- 男女共同参画の進捗状況を表す指標として広く用いられている「市が設置する審議会等への女性の登用割合」は、伸び悩んでいます。

(課題)

- 女性が社会参画するうえで、女性と男性がともにパートナーとして社会に参画する意識づくりの推進が必要です。
- 社会及び生活の場(地域・家庭)における男女共同参画を促進するため、男女共同参画理念の浸透と意識の醸成が必要です。
- 女性の意見を社会に反映させるため、市の審議会等への女性参画の推進が必要です。

施策の体系

【施策】	【基本事業】
男女共同参画と多様な生き方を尊重する社会の形成	1 意識の醸成と理念の浸透 2 参画機会の拡大と活動促進

施策の方向

- 男女共同参画に関する学習を推進し、男女共同参画理念の浸透と意識醸成を図ります。
- ジェンダー平等を推進し、性別に関わらず、誰もがその能力と個性をいかせる社会の実現を目指します。
- 女性が意思決定の場に参画する機会の拡大を図ります。



第5章 交流と連携による地域づくり

【基本事業1】意識の醸成と理念の浸透 <<SDGs④⑤⑩⑰>> [総合戦略1-イ]

○各分野における男女共同参画を促進するための情報を発信し、理念の浸透と意識醸成を図ります。

【基本事業2】参画機会の拡大と活動促進 <<SDGs⑤⑩⑰>> [総合戦略1-イ]

○市の政策・方針等に女性の意見を反映させるため、市が設置する審議会等での女性委員の登用割合を高め、参画機会の拡大を図ります。

目標指標

	指標名	参考値 2018(H30)	現状値 2023(R5)	目標値 2029(R11)
施 策	①男女共同参画に関する市民満足度	43.1 点	38.9 点	40.8 点
基本事業1	②男女共同参画講座の参加者の満足度	—	93.0 点	100.0 点
基本事業2	③審議会等の女性委員登用割合(%)	29.0%	31.0%	40.0%

【目標値の考え方】

- ①男女共同参画に関する市民満足度の増加を目指すもの。
- ②男女共同参画に関する講座参加者の満足度の増加を目指すもの。
- ③市が設置する審議会等への女性委員の登用割合の増加を目指すもの。

関連計画

男女共同参画基本計画

第3 地域間交流・連携、多文化共生の推進

現状と課題

(現状)

- 国内の都市等との交流は、青森県黒石市、秋田県大仙市、岩手県八幡平市、沖縄県宮古郡多良間村など、これまで行政や住民相互で、産業、教育、スポーツなど様々な分野で行われてきました。
- 「秋田・岩手地域連携軸推進協議会」や「本州四端協議会」など、様々な背景で結びついていた市町村と、地域資源を活かした交流、連携を推進し、産業振興など地域の発展に向けた取り組みを行ってきました。
- 海外の友好協力都市との交流は、中国山東省烟台市、フィリピン・ベンゲット州ラ・トリニダッド市との間で、医療、産業などの分野で行われています。2024(令和6)年度には、インドネシア・マナド市と人材の雇用に関する意向表明書を締結しました。
- 東日本大震災、「平成28年台風第10号」災害、「令和元年東日本台風」災害では、以前からの交流都市等から多大な支援をいただいたほか、これを契機に交流が始まった都市等もあり、交流、連携が復興の後押しとなりました。
- 本市における外国人住民登録者数は、2022(令和4)年12月末は131人でしたが、2023(令和5)年12月末には171人となっています。また、外国人観光客入込数は、2022(令和4)年は616人でしたが、2023(令和5)年には4,224人となっています。コロナ禍終息以降、本市で暮らす外国人が増え、多くの外国人が本市を訪れており、世界とつながる機会が増加しています。
- 国においては、新たな在留資格の創設など、外国人材の受け入れ拡大に向けた取組を更に進めることとしています。

(課題)

- 姉妹都市等との交流を継続的に実施するため、交流事業への参加者確保や持続可能な事業の実施体制の構築が求められています。
- 外国人観光客、在住外国人の増加に対応するため、多様な文化、習慣に対する市民の理解と国際交流事業への市民の参加が求められています。



第5章 交流と連携による地域づくり

施策の体系

【施策】	【基本事業】
地域間交流・連携、多文化共生の推進	1 国内の他地域との交流・連携の推進 2 多文化共生の推進

施策の方向

○地域の個性や魅力を高め、地域活性化を図るため、姉妹都市等をはじめ経済・文化・歴史など様々な背景で結びついた都市・地域との交流、連携を工夫しながら継続していきます。

○多様な文化、習慣を理解しあえるよう国際交流や多文化理解活動等を通じた多文化共生の地域づくりを推進していきます。

【基本事業1】国内の他地域との交流・連携の推進 <SDGs⑪⑰> [総合戦略1-ウ]

○姉妹都市等をはじめ経済・文化・歴史など様々な背景で結びついた他市町村と連携し、イベントの開催やインターネットの活用により、各地域が持つ資源の相互利用や魅力ある効果的な情報発信に取り組みます。

【基本事業2】多文化共生の推進 <SDGs⑩⑪⑯⑰> [総合戦略1-ウ]

○多様な文化、習慣を理解しあえるよう国際交流や多文化理解活動等を通じた多文化共生の地域づくりを推進します。

目標指標

	指標名	参考値 2018(H30)	現状値 2023(R5)	目標値 2029(R11)
施策	①他地域との交流活動に対する市民満足度	36.2点	40.9点	60.0点
	②国際化の理解活動に対する市民満足度	34.4点	38.3点	60.0点
基本事業1	③国内交流市町村との交流事業数	7事業	7事業	10事業
基本事業2	④国際交流や多文化理解活動のイベント市民参加者数(日本人)	—	215人	300人
	⑤国際交流や多文化理解活動のイベント参加者数	236人	260人	300人

【目標値の考え方】

- ①他地域との交流活動に対する市民満足度を高めるもの。
- ②国際化の理解活動に対する市民満足度を高めるもの。
- ③現在、連携・交流を行っている自治体との交流事業数を設定したもの。
 - ・姉妹都市：青森県黒石市(1)
 - ・友好交流都市：秋田県大仙市(4)
 - ・秋田・岩手地域連携軸推進協議会：(1)
 - 秋田県潟上市、秋田市、大仙市、仙北市、岩手県雫石町、滝沢市、盛岡市
 - ・本州四端協議会：(1)青森県大間町、山口県下関市、和歌山県串本町
- ④日本人の国際交流や多文化理解活動の市民参加者数を増加させるもの。
- ⑤国際交流や多文化理解活動の市民参加者数を増加させるもの。



第4 関係人口・移住定住の推進

現状と課題

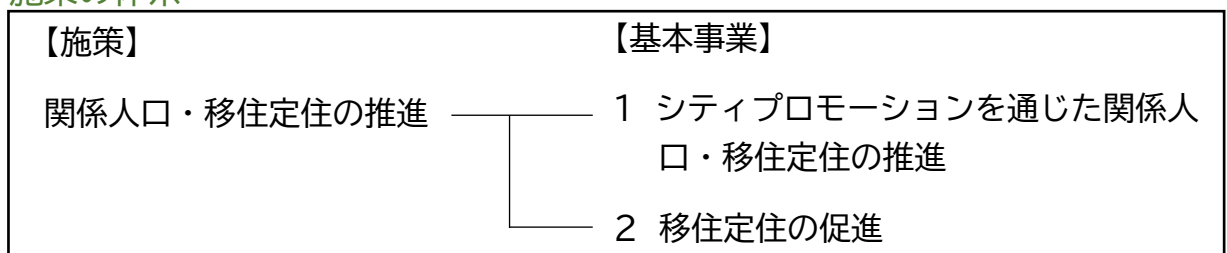
(現状)

- 本市の人口は、死亡数が出生数を上回る自然減と、若年世代を中心に転出者が転入者を上回る社会減の状態が続いています。
- 人口減少は、地域経済や地域コミュニティの衰退のほか、市の財政面への影響など、様々な問題を引き起こす問題となっています。

(課題)

- 関係人口創出のため、市の魅力を高めるとともに、それを全国に発信することで、市民の愛着度及び市外からの認知度を高める必要があります。
- 複業、リモートワークなど働き方が多様化している中で、移住希望者の傾向やニーズを把握し、本市の魅力的なしごとを構築、発信する必要があります。
- 地域おこし協力隊等の市外人材の受け入れを促進し、地域力の向上を図るとともに、若者世代を中心とした定住促進の取り組みを推進する必要があります。

施策の体系



施策の方向

- 市の魅力の磨き上げを行うとともに、SNSなど多様な情報媒体を通じて発信することで、市の認知度、愛着度の向上を図ります。
- 多様化するライフスタイルに対し、そのニーズを把握するとともに、本市の相談窓口の整備や受け入れ体制の強化に取り組むことで、移住・定住を推進します。
- 地域おこし協力隊等の市外人材の受け入れを促進し、地域力の向上を図るとともに、若者の移住・定住の促進を図ります。

【基本事業1】シティプロモーションを通じた関係人口・移住定住の推進

《SDGs⑪⑰》[総合戦略5-イ]

○行政と市民が一体となって市の魅力を高めるとともに、その魅力を市内外に広く発信する取り組みを推進します。

【基本事業2】移住定住の促進 《SDGs⑪⑰》[総合戦略3-ア、5-イ]

○移住希望者のニーズに合わせた多様なアプローチを行うため、移住者向けポータルサイトを地元高校生と連携して情報発信をするとともに、移住相談会等を活用したPRを推進し、移住定住促進への取組みを実施します。

○地域おこし協力隊の受入れを推進し、地域力の向上を図るとともに、若者の移住・定住の促進を図ります。

○結婚を希望する人や新婚夫婦を支援することで、市への定住促進を図ります。

目標指標

	指標名	参考値 2018(H30)	現状値 2023(R5)	目標値 2029(R11)
施 策	①基本事業の指標	—	—	—
基本事業1	②ソーシャルメディアのフォロワー数	—	20,344人	27,000人
基本事業2	③移住定住相談会の宮古市ブース相談者数	13人	16人	30人
	④地域おこし協力隊員数	6人	7人	20人
	⑤結婚新生活支援補助交付件数	—	8件	30件

【目標値の考え方】

①各基本事業の指標を設定。

②2023(令和5)年度の現状値から毎年5%増を目指すもの。

③2023(令和5)年度実績を勘案して相談者数の増加を目指すもの。

④2023(令和5)年度実績を勘案し、1年間に2名以上の隊員の増加を目指すもの。

⑤婚姻件数の増加を目指すもの。